

KBI NEWS

**CROSS
SPIRIT
MISSION**

関西聖書学院

〒630-0266 奈良県生駒市門前町 22-1

TEL:0743-70-8600 FAX:0743-70-8601

編集・発行人：高橋 めぐみ

E-mail: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp

HP: <https://www.kbiwave.com>

郵便振替：001140-6-67708

銀行：尼崎信用金庫上ヶ原支店 普通 0015453

「KBI生駒移転二十周年」生駒は神様のご計画の地であった

KBI事務長

竹川 正英



2005年当時

私は、二〇〇一年不思議な導きで生駒市に転居。〇五年一月から生駒移転計画に関わって二十一年目、関係者の中では数少ない語り部になった。生駒移転を語る時、私のテーマはいつも「生駒は神様のご計画の地であった」である。

一九六六年以降西宮にあった校舎は、経年劣化や阪神淡路大震災被災のため二〇〇〇年頃から建替か移転かの検討を開始、〇四年九月には建替と決定した。が、そうはいかなかった。

それは〇四年十二月十一日、一本の電話から劇的な展開が始

まった。生駒山の中腹にある旧金融機関保養所売却の入札情報であった。入札は僅かに三日後。当時のJEC理事長であった富浦好之師と大田学院長ら数名が現地に急行。富浦師の「ここは思い切って踏み出しましょう。私が泥を被ります。」(五十周年記念誌から)の一言で思いは一致。急ぎKBI、JEC両理事の同意を取り付けるという異例の手続きで入札参加を決定。十二月十四日、延べ床面積千百坪の物件を落札した。

東には奈良市街を一望できる素晴らしい眺望に恵まれている。一方で、新規建築のできない市街化調整区域、国定公園内にあって風致条例など規制の厳しい立地、近くには歓喜天を祀る宝山寺、門前町としての名残りの旅館群、正門前の石の鳥居やその奥のほくら・地蔵などがあった。およそ神学校には相応しくない環境にあり反対論も根強くあった。加えて融資申請が最終決済の前日まで決定しない

などその後の試練の数々は誰にも予測できないものであった。ネヘミヤ委員会は再三重苦しい雰囲気包まれた。しかし、人知を超えたところでことごとく脱出の道が備えられていた。そして〇五年十月西宮から移転、十一月三日に無事献堂式が行われた。

あれから二十年。毎年多くの神学生が起これ今や最も用いられている神学校の一つである。堺・西宮時代の本科卒業・修了生は四百五名、移転以降は三百十八名を数える。〇四年度に始まった宣教師訓練コース修了生は五十八名。十二年度には教会開拓刷新コースが生まれ六十二名が修了。今またインパクトジャパン(外国人宣教師が日本を学ぶ十週間のコース)が始まった。

神様はこの先どんなご計画をお持ちなのだろうか。「全世界に出ていき、」福音宣教の使命は尽きることがない。主の恵みと導きに感謝しつつ…。



移転二十周年記念集会に参加して

二年 阪田 怜士

十一月三日、秋晴れのなか、スタッフや在校生を含めて二百名以上が集まり、共に移転二十周年をお祝いしました。卒業生や先生方の証しを通して、主がこの六十四年間、どれほどKBIを愛し、導いてくださったのかを振り返り、感謝が溢れるときとなりました。

メッセージは、林田裕樹先生が「この恵みにとらえられて」という題で語ってくださいました。特に印象に残った言葉は、「クリスチャンは何かすごいことによつて周りに影響を与えるのではない。主の恵みに生きる時に影響を与えていく」というものでした。神学生として日々を過ごしていると、「何かできるようにならないければ」、「もっと知識を蓄えなければ」と焦ることがあります。しかし、大切なのは「自分が」ではなく「イエス様が」してくださること。主の恵みの

中で生きる時に、働きが前進していくのだと教えられました。

人生の中では、祈れない時や、なぜこのようなことが起きるのかと苦しむ時もあります。それでも遣わされた場所で御霊に満たされ、礼拝者として主と共に生きていきたい。たとえ一人でも救われる人が起こされるように、主に自分自身を日々ささげていきたいと、決意を新たにしました。

「十字架と聖霊、そして宣教」——これからもKBIを通して、神の宣教がさらに広がっていきますように。



生駒への移転作業を振り返って

和歌山福音教会

牧師 中林 かなえ

ハレルヤー！ KBI生駒移転二十周年おめでとーございます。

当時まだ私は二十代前半の一年生でした。学生たちは授業返上できつい力仕事をし、「しんどい、疲れた、臭い、重い…」などと言いながら移転作業をしていました。特に三年生は論文や進路のことも考えながら責任をもって作業をされていました。応援に来て下さる先生方もいらっしやいました。また合間をぬってオリジナルCD制作に取り組む日々は、案外楽しいものでした。

そんな中、私は途中で体調を崩して数日間作業ができませんでした。しかし、「こんな大変な時に迷惑だ」という雰囲気は全くなく、むしろ心配して気遣っていただきました。私にとって主の愛を経験する恵みの時でもありました。

学生たちはそれぞれに葛藤や体力の限界を覚えながらも、

もに一つのゴールに向かって建て上げている喜びを感じていたのではないのでしょうか。この原稿を書きながら、当時を共に過ごしたみんなに会いたくなくなりました。

私は移転作業を通して、忙しさや葛藤、限界を覚える中で主と交わることの大切さを学びました。ともに建て上げるという希望と喜びを、主が『教会に与えて下さった』ことを教えられたように思います。

「あなたがたも、このキリストにあつて、ともに築き上げられ、御霊によつて神の御住まいとなるのです。」

(エペソ二章二十二節)
主に栄光がありますように！



CSセミナーの証

一年 手束 実結

九月十五日に八尾福音教会にて開催されたCSセミナーに、KBI一年生で参加させていただきしました。祝日にも関わらず多くの方が参加されていて、CSに重荷をもっておられる方々の姿に励ましを受けました。また「神の答え」というKBIオリジナル賛美曲と振付で、皆さんと共に賛美させていただきました。踊りながら賛美していると、自然と笑顔がこぼれて神様への感謝と喜びが溢れました。

講師は奈良福音教会五條福音チャペルの保野あかね先生でした。テーマは「教会学校でstart」で、七年間休止状態であったMEBICを保野先生がチャペルに赴任されてから再開したこと、そして子どもたちを集めるためにチラシ配りを続けていることをお聞きしました。特に心に残ったのは「チラシ配りはその地域における霊的戦いの最前線である」という言葉です。様々な宗教が子どもたちを取り合っているということに、ハッ

とさせられました。子どもたちに教会へ来てほしい、救われてほしいと私たちが願うのと同様に、他の宗教も子どもたちにアプローチをしているという視点が、今までありませんでした。

私たちの教会で地域の子どもたちにどのように関わることをできるかを考え、できることから始めていく必要があることを思わされました。そして子どもたちの救いのために祈りつつ、子ども伝道に取り組んでいきたいと思いました。





宣教ウィークとは

毎年六月中旬に、四一五名のチームで全国様々な地域へ出かけて行って(GO・HIT)福音を届けるプログラムです。今年も祈りに導かれ、不思議な出会いがあり、主の御心を知る時となりました。

一歩踏み出す

一年 後藤 彩門

私たちは未伝の地に伝道をしたいという思いから、奈良県の五條で中高生を対象にバーベキューを企画しました。高校の校門付近でうまい棒付きのチラシを配ると、沢山受け取ってもらうことができました。「絶対行こう!」「無料最高じゃん!」など良い反応があり期待しましたが、時間になっても誰も来ませんでした。そこで駅につながる大通りに行き、チームで交代しながら声がけをしたところ、下校中の高校生と近所に住む方が来てくれました。さらに、大きなチラシを体に貼って駅まで呼び込みに行く一人の方が来てくれました。

内向的な私は声をかけて伝道することを恐れていましたが、宣教ウィーク前に受け取ったエ

レミヤ一章六〇九節を思い出し、人を恐れずに一歩踏み出す勇気を与えられました。チームとしてもその時々に行ける限りのことを主にあって行つた結果、主の素晴らしさを共に体験することが出来ました。



主の御声を聞く

三年 林 ハンナ

私が今回の宣教ウィークで学んだことは、「主の声を聞くことの大切さ」です。リーダーとして自分はどうあるべきか、リーダーシップについて考えさせられた時でした。行き先やスケジュールなどチームで様々なことを決める中で、私はメンバーの意見を聞くことばかりに重点を置いてしまいました。そして意見をどのようにまとめたら良いのかに悩みました。その中で、



自分がメンバーの反応を気にしすぎていたこと、良いリーダーだと思われないと周りからの評価を求めていることに気づかされました。リーダーとして、メンバーの意見を聞くことは大事です。しかし、目に見えるもので判断するのではなく、まず主がどう語っておられるのかを聞くことが大事であることを、改めて実感しました。貴重な学びが与えられた事に感謝します。

CD 制作の証し

新しい歌を主に歌え

三年 花岡 愛喜

関西聖書学院移転二十周年記念プロジェクトとして、十一月三日にオリジナル賛美アルバムをリリースいたしました。テーマは「希望」です。このアルバムには二つの思いがあります。第一に、私たちの希望である主を新しい歌で礼拝したいという思いです。第二に、暗闇で満ちた世の中に、福音と希望が届けられることを願う思いです。

収録されている賛美（全十二曲）は主がKBI生に与えてくださったオリジナル賛美です。みことばやKBI生に与えられた証しも歌われています。

私は、今回のアルバム制作に実行委員として携わりました。この機会を通して、主がすべてを成されたことを覚えます。アルバムの制作中、私はいくつもの問題に直面しました。周囲と一致しようとする中で葛藤がおり、自分の基準で物事を判断してしまう弱さを感じました。その過程で、主は私にある祈りへと導かれました。それは「万軍の主の熱心がこれを成し遂げる」「栄光は主のものである」と信じる祈りです。私は自分の

力や判断に頼ることをやめ、主に望みを置くことにしました。

その後、学院全体に御霊の一致が与えられました。収録のための賛美集会では主が豊かに臨んでくださり、皆で主の御名をほめたたえました。

新しい賛美を以って、ともに主を礼拝しましょう。栄光在主！



授業紹介「スピリチュアル・フォーメーション」

岐阜純福音教会

KBI教師 小山 健

「スピリチュアル・フォーメーション（霊的形成・変容）」とは「私達の内側が、聖霊の働きにより、キリストご自身の姿に変えられていくこと」を意味します。KBI生に限らず、全てのクリスチャンが、正しく造り変えられていく歩みをする必要があります。クリスチャン生活・人生全体の幅広い領域が取り扱われる範囲となります。

前期には「霊的形成とは」「正しく造り変えられるには？」を学び、「祈り」「デボーション」「主の声を聞くには」など霊的修練を実践的に学びます。

秋には一泊二日でリトリートを行います。日中は自然の中でじっくりと主と一対一で祈り、夜は仲間たちと分かち合い、祈り合います。リトリートを通して「急ぎ病」から解放され、主に焦点を合わせることを体験として学ぶ良い機会となっています。

後期には、試練・困難や「主が遠く感じられる時」にどう歩

めばよいのか、「召しとは何か」を学びます。その中で、賜物や結婚についても学びます。

日本のクリスチャン寿命（信仰生活を送る年数）は平均二年半とも言われます。救われた後ですぐ信仰を失う方、自分の力で頑張り燃え尽きる方が多くおられます。「救われた後、どのようにに造り変えられていけばよいのか」を学ぶ機会が不足していることが一つの原因と思われます。正しく霊的形成を学び、教えることができる器が整えられることで、この課題を乗り越えることができると信じています。





2026年度 新入生募集

- 本科コース（1年間・3年間）
- 短期コース（3週間）期間：4月7日～25日
全寮制。応募締め切り：2026年2月28日
- 教会開拓・刷新コース（CPRC）
- 宣教師訓練コース（MTC）
- IMPACT JAPAN（外国人宣教師訓練のための新コース）
- 通信教育コース（本科編入・生涯学習コース）

日本と世界で活躍する働き人の育成の場。



KBIニュース メール配信の お知らせ

2024年10月より郵便料金が改定されたことを受けて、第122号よりKBIニュースのメール配信を開始しております。ご協力いただける方は以下のQRコードよりご連絡ください。



- O・B・O・G通信 ●
- 南充恒師（二〇一二年度卒）
JEC 泉南福音教会 牧師就任
二〇二五年七月六日
- 開所のお知らせ
開成クリスチャンセンター
（教会未設置地区開拓）
芳三容子師（一九八六年度卒）
と 荒井恵子師（二〇〇九年度卒）
二〇二五年八月二日
- ご結婚おめでとうございます
川崎真奈姉（二〇二二年度卒）と
山田優兄（二〇二五年九月十三日）
田口恵子姉（二〇二四年度卒）と
加藤優樹兄（二〇二三年度修了）
二〇二五年十一月二十四日
- 訂正
前号に掲載しました結婚のお知らせの、お名前と日時に誤りがありました。
斎藤友良兄（二〇一八年度卒）と小林野花姉
二〇二五年四月二十六日
訂正してお詫び申し上げます。

献金を感謝いたします

献金者ご芳名（敬称略・順不同）（2025.5.11～2025.9.30）（KBI への直接献金分）

■一般会計献金

個人：兼松千佳子、石賀満、安黒務、小口雄人、黄金井尚美、斎藤邦夫、兼松道子、店橋良子、安野清子、石崎政登、高橋めぐみ、加賀清孝、川崎豊信、三宅英子、山本恵子、井野葉由美、林智子、有馬陽介、有吉朝子、浜崎英一、船戸頼子、工藤登志子、一場茉莉子、秋元清友、熊本直美、上田絢子、嶋林泰代、内田紀代香、松本直展、酒井哲男、鶴野英子、ミズタタカシ&マキ、浜田美貴子、森本裕・眞美子、森敏・雅子、宮腰美喜、二口啓一・千里、前田徳治・祥子、熊谷雄二、廣瀬志保、吉田朝彦・陽子、辻村順子、山本静華、松本亜紀子、匿名希望（3件）氏名不詳（2名）

教会&団体：パークサイドチャペル、上郡福音教会、旭川神愛キリスト教会、尾上聖愛教会、高砂教会、ヒルズチャーチ、鈴鹿キリスト福音教会、狭山福音教会、京都シオンの丘キリスト教会、浜松汀キリスト教会、奈良福音教会、八尾南福音教会、可児福音教会、カナン・ブレイズ・チャーチ、ゴスペルライフ甲東チャペル、東栄福音キリスト教会、東京チャペル、山の辺キリスト教会、垂水福音教会、北九州チャペル、

奈良ブレッシングチャーチ、ゴスペルチャーチ千里、祝園チャペル、さんだグレイスチャペル

< 運営支援献金 >

日本福音教会（JEC）、御殿場純福音キリスト教会、美濃グレースチャーチ、岐阜純福音教会、保土ヶ谷純福音教会、フィラデルフィアチャーチ（シアトル）

< 特別献金 >

1. 建設基金献金

個人：春名裕

教会&団体：秦野クリスチャンセンター

2. その他

個人：デイビッドワング、小山大三、KBI 学生

教会&団体：八木山聖書バプテスト教会

■奨学基金献金

個人：竹川正英、芝連代、豊村恵悟・みちる、吉田朝彦・陽子、二宮愛（長谷川幸子）

※「KBI サポーター献金」につきましては、10 月末（クレジット決済は 9 月末）現在 64 名の方にご支援いただいております。感謝いたします。（別紙掲載）